

## Synfluid® PAO 7 cSt

版番号 1.10

改訂日 2022-09-07

## 項目1. 化学物質等及び会社情報

## 製品情報

製品名 : Synfluid® PAO 7 cSt  
材質 : 1079863, 1080486, 1079705

会社名 : シェブロンフィリップス化学株式会社  
10001 Six Pines Drive  
The Woodlands, TX 77380

## 緊急連絡電話番号:

## 健康:

866. 442. 9628 (北米)  
1. 832. 813. 4984 (国外)

## 輸送:

CHEMTREC 800. 424. 9300 または 703. 527. 3887 (国際電話)  
アジア : CHEMWATCH (+612 9186 1132) 中国 : 0532 8388 9090  
メキシコ CHEMTREC 01-800-681-9531 (24時間)  
南米 SOS-Cotec ブラジル国内 : 0800. 111. 767 ブラジル国外 : +55. 19. 3467. 1600  
アルゼンチン : +(54)-1159839431  
ヨーロッパ : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)  
オーストリア : VIZ +43 1 406 43 43 (年中無休)  
ベルギー : 070 245 245 (年中無休)  
ブルガリア : +359 2 9154 233  
クロアチア : +3851 2348 342 (年中無休)  
キプロス : 1401  
チェコ : Toxicological Information Center +420 224 919 293、+420 224 915 402  
デンマーク : Danish Poison Center (Giftlinjen) : +45 8212 1212  
エストニア : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)  
フィンランド : 0800 147 111 09 471 977 (24時間)  
フランス : ORFILA number (INRS) : + 33 (0) 1 45 42 59 59 (年中無休)  
ドイツ : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)  
ギリシャ : (0030) 2107793777 (年中無休)  
ハンガリー : +36-80-201-199 (年中無休)  
アイスランド : 543 2222 (年中無休)

## Synfluid® PA0 7 cSt

版番号 1.10

改訂日 2022-09-07

アイルランド : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)  
イタリア : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)  
ラトビア : State Fire and Rescue Service、電話番号 : 112、Toxicology and Sepsis Clinic  
Poisoning and Drug Information Center (Hipokrāta 2, Riga, Latvia, LV-1038)、電話番号 : +371 67042473 (24時間)  
リヒテンシュタイン : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)  
リトアニア : +370 (85) 2362052  
ルクセンブルク : (+352) 8002 5500 (年中無休)  
マルタ : +356 2395 2000  
オランダ : NVIC : +31 (0)88 755 8000  
ノルウェー : 22 59 13 00 (年中無休)  
ポーランド : BIG +32. 14. 584545 (電話) または+32. 14583516 (テレファクス)  
ポルトガル : CIAV 電話番号 : +351 800 250 250  
ルーマニア : +40213183606  
スロバキア : +421 2 5477 4166  
スロベニア : 電話番号 : 112  
スペイン : Spanish Poison Centre、緊急電話番号 : +34 91 562 04 20 (年中無休)  
スウェーデン : 112 - 毒物に関する情報の問い合わせ

担当部門 : 製品安全性および毒性グループ  
電子メールアドレス : SDS@CPCChem.com  
ウェブサイト : www.CPCChem.com

## 2. 危険有害性の要約

**物質または混合物の分類**  
JIS Z7252-2014 及び JIS Z7253-2012 に 従った GHS 分類及びラベル表示 (GHS 2011)

## 分類

危険な物質や混合物ではありません。

## ラベル付け

危険な物質や混合物ではありません。

## 3. 組成及び成分情報

別名 : R02253  
R05051  
Polyalphaolefin  
PA0

分子式 : Polymer  
GHS(世界調和システム) によれば危険有害性成分は含まれていない。

## Synfluid® PA0 7 cSt

版番号 1.10

改訂日 2022-09-07

## 4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 特別な応急措置が必要になる危害要因はない。事故の場合や、気分がすぐれないときは直ちに医者診察を受ける（可能ならばラベルを見せる）。この安全データシートを担当医に見せる。
- 吸入した場合 : 蒸気を誤って吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移す。大量に曝露した場合は、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染した衣服を脱ぐ。刺激が現れる場合には、医療機関で診察を受ける。直ちに多量の水で洗い流す。
- 眼に入った場合 : 予防措置として、水で眼を洗浄する。コンタクトレンズをはずす。洗浄中は眼を大きく開ける。眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 飲み込んだ場合、無理に吐かせない。ミルクやアルコール飲料を与えない。意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。必要であれば医師に相談する。

## 5. 火災時の措置

- 引火点 : 246-271-C (475-520-F)  
方法: Cleveland Open Cup
- 自然発火温度 : 351-C (664-F)
- 適切な消火剤 : 水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用すること。
- 特有の危険有害性 : 棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。火災時は水を噴霧して密閉容器を冷却すること。
- 消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。
- 詳細情報 : 化学物質の火災に対する標準手順。現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 火災および爆発の防止 : 標準的な防火方法。
- 危険有害な分解生成物 : 炭素酸化物。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する予防措置 : 保護具を使用する。十分な換気を確保する。安全な場所に避難する。物質で滑りやすい状態となる可能性がある。

## Synfluid® PAO 7 cSt

版番号 1.10

改訂日 2022-09-07

- 環境に対する注意事項 : 環境に対する特別処置は必要ではない。
- 除去方法 : 廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。環境に関する規制に従い、汚染された床および物質を完全にきれいにする。
- 追加アドバイス : 特に言及すべき条件は無い。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

- 安全取扱注意事項 : 蒸気/粉じんを吸い込まない。個人保護については項目 8 を参照する。作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
- 火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。

## 保管

- 保管場所および容器の必要条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。ラベルの予防措置を遵守する。電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 設備対策

工学的制御の設計や個人用保護具の選択の際には、本物質の潜在的危険性（第2節参照）、適用される曝露限度、作業活動、および作業場にあるその他の物質を考慮すること。工学的制御または作業方法が、本物質の有害レベルにおける曝露の予防に十分でない場合には、以下の個人用保護具を使用することが推奨される。保護は通常、限定的な時間または一定の状況下に対して提供されるものであるため、ユーザは装置に付属するすべての指示事項および制限事項を読んで理解しておくこと。

## 保護具

- 呼吸用保護具 : 通常の大気圧下において最小酸素含有量の19.5容量%を維持するために、通気制御または工学的制御が適切でない場合は、NIOSH認定送気呼吸器が好適です。
- 手の保護具 : 製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。手袋に劣化または薬品の浸透を示す兆候わずかにある場合でも、手袋を破棄し取り替えなければならない。
- 眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル。密着性の高い安全ゴーグル。
- 皮膚及び身体保護具 : 適した身体防具を選ぶには、そのタイプ、危険物質の濃度や量

## Synfluid® PA0 7 cSt

版番号 1.10

改訂日 2022-09-07

	そして特定の作業場を考慮する。必要に応じて着用：軽量の保護服。
衛生対策	： 使用中は飲食しないこと。使用中は禁煙。休憩前や終業時には手を洗う。
保護対策	： 適切な保護具を着用すること。使用中は飲食及び喫煙を禁止する。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 基礎物理および化学特性の情報

## 外観

形状	： 液体
物理状態	： 液体
色	： 無色
臭い	： 無臭

## 安全性データ

引火点	： 246-271-C (475-520-F) 方法: Cleveland Open Cup
爆発範囲の下限	： データなし
爆発範囲の上限	： データなし
酸化特性	： 非該当
自然発火温度	： 351-C (664-F)
分子式	： Polymer
分子量	： 適用されない
pH	： 適用されない
流動点	： <-42-C (<-44-F)
沸点／沸騰範囲	： >260-C (>500-F)
蒸気圧	： データなし
密度	： 6.87 - 6.96 L/G
水溶性	： 炭化水素溶剤で溶解、水では不溶性。
動粘度（動粘性率）	： 38 cSt で 40-C (104-F) 方法: ASTM（米国試験材料協会） D 445

## Synfluid® PAO 7 cSt

版番号 1.10

改訂日 2022-09-07

相対ガス密度 : データなし

蒸発速度 : データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の周囲室温および圧力では安定。

化学的安定性 : この材料は、通常の周囲温度と予想されるストレージの下に安定したと見なされ、温度や圧力の条件を処理する。

## 危険有害反応可能性

危険有害反応可能性 : 危険有害反応可能性: 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。

危険有害反応可能性: 危険な重合は起こらない。

詳細情報: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

避けるべき条件 : データなし。

混触禁止物質 : 酸素や強い酸化剤（塩素酸塩、硝酸塩、過酸化物など）と反応することがある。

酸化性固体、酸化性液体。

危険有害な分解生成物 : 炭素酸化物

その他のデータ : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

## 11. 有害性情報

## Synfluid® PAO 7 cSt

## 急性毒性（経口）

: LD50: > 5,000 mg/kg

種: ラット

本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

## Synfluid® PAO 7 cSt

## 急性毒性（吸入）

: LC50: > 5 mg/l

曝露時間: 4 HR

種: ラット

試験環境: 粉じん/ミスト

## Synfluid® PAO 7 cSt

版番号 1.10

改訂日 2022-09-07

本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

Synfluid® PAO 7 cSt  
急性毒性（経皮）

: LD50: &gt; 2,000 mg/kg

種: ラット

本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

Synfluid® PAO 7 cSt  
皮膚刺激性

: 皮膚刺激なし

本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

Synfluid® PAO 7 cSt  
眼への刺激

: 眼への刺激なし

本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

Synfluid® PAO 7 cSt  
感作

: 動物実験では感作性なし。

本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

Synfluid® PAO 7 cSt  
反復投与毒性

: 種: ラット, 男性および女性

性: 男性および女性

投与経路: 経口（胃管栄養法）

投与量: 0, 1000 mg/kg/day

曝露時間: 28 days

NOEL 無影響濃度（量）: 1,000 mg/kg

方法: OECD 試験ガイドライン 407

本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

Synfluid® PAO 7 cSt  
in vitro での遺伝毒性

: 試験タイプ: Ames 試験

結果: 陰性

備考: 情報は主成分に関わる。

試験タイプ: in vitro染色体異常試験

結果: 陰性

備考: 情報は主成分に関わる。

Synfluid® PAO 7 cSt  
in vivoでの遺伝毒性

: 試験タイプ: マウス小核試験

結果: 陰性

備考: 情報は主成分に関わる。

Synfluid® PAO 7 cSt  
誤えん有害性  
毒性アセスメント

: 吸引性呼吸器有害性には分類されていない。

## Synfluid® PAO 7 cSt

## Synfluid® PA0 7 cSt

版番号 1.10

改訂日 2022-09-07

**CMR 影響**

: 発がん性:  
ヒト発がん性としては格づけできない。  
変異原性:  
動物実験では遺伝子の突然変異への影響は無かった。  
催奇形性:  
動物実験で催奇形性は示さなかった。  
生殖毒性:  
生殖に対する毒性は無い

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

**魚毒性**

: LL50: > 1,000 mg/l  
曝露時間: 96 HR  
種: *Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)  
止水式試験 被験物質: 非該当  
方法: OECD 試験ガイドライン 203  
本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

**ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性**

: EC50: > 1,000 mg/l  
曝露時間: 48 HR  
種: *Daphnia magna* (オオミジンコ)  
止水式試験 被験物質: 非該当  
方法: OECD 試験ガイドライン 202  
本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

**藻類に対する毒性**

: 最大無影響濃度: > 1,000 mg/l  
曝露時間: 96 HR  
種: *Selenastrum capricornutum* (藻類)  
方法: OECD 試験ガイドライン 201  
本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

**ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性)**

: 最大無影響濃度: 125 mg/l  
曝露時間: 21 TEN  
種: *Daphnia magna* (オオミジンコ)  
被験物質: 非該当  
本品は、水分散が試験され、試験媒体中では溶解性は低い。  
本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

**生分解性**

: 本物質の即時的な生物分解性は期待できない。  
最終的には生物分解されると期待されている

**残留性、分解性**

**生体蓄積性**

: 方法: QSARのデータをモデル化  
この材料は生物濃縮には見込まれない。



## Synfluid® PA0 7 cSt

版番号 1.10

改訂日 2022-09-07

移動性 : データなし

**環境毒性アセスメント**

水生環境有害性 短期（急性） : 本物質は水生生物に有害であると考えられません。

水生環境有害性 長期（慢性） : 本物質は水生生物に有害であると考えられません。

**13. 廃棄上の注意**

このSDSの情報は、出荷される製品のみに関連する。

本物質は意図された目的に使用し、可能であれば再生利用すること。廃棄する必要がある場合、本物質は、RCRA（40 CFR 261）に基づき米国EPAに定義された、またはその他の州や地方自治体により定義された、有害廃棄物の基準が適用されることがある。適切な判断を下すために、所定の物理的性質の測定および規制対象物質の分析が必要な場合がある。本物質が有害廃棄物として分類されている場合には、連邦法により認可済みの危険廃棄物処理施設にて廃棄することが義務付けられている。

製品 : 認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする 製品入り容器と同様に処分する。 空の容器を再使用しない。

**14. 輸送上の注意**

ここに示される輸送の説明はバルク輸送に関するもののみであり、それ以外の包装済み製品輸送には適用されない（規制の定義を参照）。

他の輸送説明要件（専門的名称など）については、米国内外モードに特有、および量に特有の、適切な危険物取扱規定を調べる。従って、ここに示す情報は本物質に対する船荷証券輸送記述に必ずしも一致しないことがある。物質の引火点は、SDSと船荷証券との間にわずかな違いがあることがある。

**US DOT（米国運輸省）**

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

**IMO/IMDG（国際海洋危険物）**

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

**IATA（国際航空輸送協会）**

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

**ADR（危険物の道路輸送に関する欧州協定）**

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

**RID（危険物の国際輸送に関する欧州規則）**

## Synfluid® PA0 7 cSt

版番号 1.10

改訂日 2022-09-07

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

**ADN（危険物の国際内陸水路輸送に関する欧州協定）**

この機関により輸送用の有害物質または危険貨物として規制されてはいない。

その他	: Polyolefin (molecular weight 300+), S.T. 2, Cat. Y
-----	--

IMO認定機器による海上大量輸送

## 15. 適用法令

## 国内法規制

## 毒物及び劇物取締法

: 該当せず

## 労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物 : 該当せず

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物） :

表示要求の対象となる危険物質 : 該当せず

有機溶剤中毒予防規則 : 該当せず

## 化審法

: 該当せず

## 化学物質排出把握管理促進法

: 該当せず

## その他の規制

消防法 : 引火性液体  
第四石油類  
危険等級III

## 既存化学物質リスト

## Synfluid® PA0 7 cSt

版番号 1.10

改訂日 2022-09-07

欧州 REACH	:	本製品はREACH規則1907/2006/ECに完全に順守しています。
スイス CH INV	:	インベントリーに従わない
アメリカ合衆国（米国） TSCA	:	TSCAインベントリーのActiveリストに記載されている、または準拠している
カナダ DSL	:	本製品中の成分は全てカナダDSLリストに記載されている。
オーストラリア AICS	:	インベントリーに記載されている、または準拠している
ニュージーランド NZIoC	:	インベントリーに記載されている、または準拠している
日本 ENCS	:	インベントリーに記載されている、または準拠している
韓国 KECI	:	この製品に含まれるすべての物質は、登録されたか、登録するように通知されたか、あるいはK-REACH規則に従う唯一の代理人を通じたCPChemによる登録が免除された。この製品の輸入は、韓国登録輸入業者がCPChemの届け書に記載されている場合、または登録輸入業者が自らこの物質を届け出ている場合に許可される。
フィリピン PICCS	:	インベントリーに記載されている、または準拠している
中国 IECSC	:	インベントリーに記載されている、または準拠している
台湾 TCSI	:	インベントリーに記載されている、または準拠している

## 16. その他の情報

## 詳細情報

レガシー SDS 番号 : 5941

NSF H1, HX-1 Registered, meets USDA 1998 H1 Guidelines

前バージョンからの大幅な変更は、余白に強調表示されている。本バージョンは以前のすべてのバージョンと差し替えられる。

このSDSの情報は、出荷される製品のみに関連する。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、このMSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。

安全データシートで使用されるキーまたは凡例から略語や頭字語まで			
ACGIH	米国産業衛生専門家会議	LD50	50%致死量
AICS	オーストラリア既存化学物質インベントリー	LOAEL	最小有害影響量
DSL	カナダ国内物質リスト	NFPA	米国消防庁
NDSL	カナダ非国内物質リスト	NIOSH	米国国立労働安全衛生研究所
CNS	中枢神経系	NTP	米国国家毒性プログラム

## Synfluid® PA0 7 cSt

版番号 1.10

改訂日 2022-09-07

CAS	化学情報検索サービス機関	NZIoC	ニュージーランド化学物質台帳
EC50	有効濃度	NOAEL	無毒性量
EC50	50%影響濃度	NOEC	無影響濃度
EGEST	EOSCA一般暴露シナリオツール	OSHA	労働安全衛生庁
EOSCA	欧州油性化学物質協会 (European Oilfield Specialty Chemicals Association)	PEL	許容暴露限界
EINECS	欧州既存商業化学物質インベントリー	PICCS	フィリピン商業化学物質インベントリー
MAK	ドイツ最大許容濃度	PRNT	推定無毒性
GHS	世界調和システム	RCRA	資源保全再生法
>=	以上	STEL	短時間暴露限界
IC50	50%阻害濃度	SARA	スーパーファンド改正・再承認法
IARC	国際癌研究機関	TLV	限度値
IECSC	中国現有化学物質名録	TWA	時間加重平均
ENCS	日本既存化学物質インベントリー	TSCA	有害物質規制法
KECI	韓国既存化学物質目録	UVCB	組成が不明または不定の構成物質、複雑な反応生成物及び生体物質
<=	以下	WHMIS	作業場危険有害性物質情報システム
LC50	50%致死濃度		